仕入れご担当者　様

10 月上旬刊

幸文堂出版 FAX.093-555-8441

おれ、死にたくない

生体肝移植と闘った15歳の少年

白川里美著

日本初の生体肝移植から 25 年

わが国 7000 件の生体肝移植の発展を支えた多くの失われた命たち。
今、ひとりの少年の声に耳を傾け、あらためて命と移植医療を考える。

三か月前 ── かずは、今よりもっと元気になりたいと希望に胸をふくらませ、歩いて病院の門をくぐった。だが、その願いがかなうことはなかった。

平成２年、ひとりの男の子が誕生した。名前は和也。夫婦にとって次男となるその男の子は元気で愛らしい赤ちゃんだった。しかし生後間もなく先天性の胆道閉鎖症であることが判明。和也は大手術を受けて一命をとりとめ、母の献身的な支えで順調に成長していった。

ところが和也が中学３年のクリスマスイブ。主治医から肝臓移植の可能性を提案される。大学病院でひとまずの検査入院のつもりが、勧められてそのまま生体肝移植を受けることに。４月からは高校生だ。これでもっと元気になれるはず、そう信じた移植手術だった。しかし……

その後に和也を襲ったのは、痙攣、出血、骨折、再手術、意識障害、血漿交換、そして再移植……穏やかに前向きに闘う少年の姿に医療はどう応えるのか。本書は１年後生存率 83% と言われる生体肝移植の、その 83% に入れなかった少年の必死に生きようとした記録であり、それを支えようとした母の苦悩の物語である。

【著者】白川里美

本書に登場する 15 歳の少年・和也の母。平成 17 年に自身がドナーとなって息子の生体肝移植を受けるが術後 2 か月で他界。
その経験を通じ、医療とは何か、家族とは何かを問い続けている。福岡県在住。

【ご注文はJRCへ】　FAX 03-3294-2177

ＪＲＣ　〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-34 風間ビル 1F　TEL.03-5283-2230

ご注文申込書	貴店番線印 お名前	冊	おれ、死にたくない 生体肝移植と闘った15歳の少年 白川里美著 四六判 並製 256 頁　本体 1,400 円 + 税　ISBN 978-4-907965-00-6 TEL.093-555-1385　FAX.093-555-8441　幸文堂出版

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。